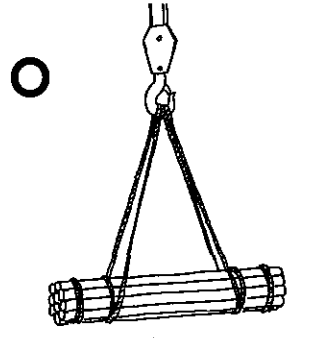
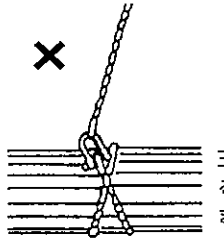
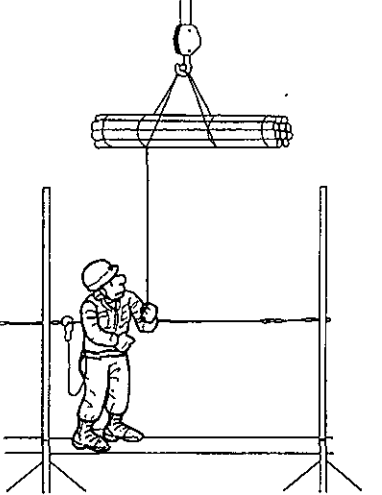
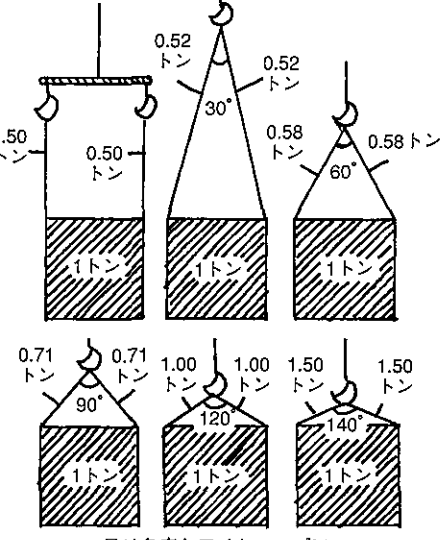
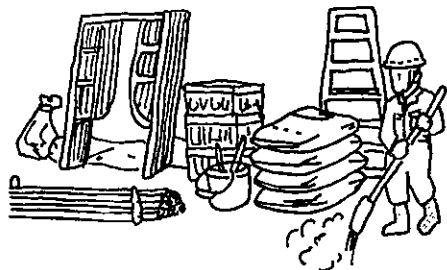


作業 区分	手 順 (主なステップ)	急 所 (安全・成否・やりやすく)	危 険 有 害 要 因 (予測される危険)	重 大 性	頻 度	評 価 点	評 価	危 険 有 害 要 因 の 防 止 対 策	誰が	備 考 《 図 》
本 業 作	6. ワイヤロープを利かせる	①介錯ロープを付け ②微動巻き上げの合図で	・ワイヤロープと荷で手を挟む					・玉掛けワイヤロープが張るま で手の平で押さえる	玉掛け者	玉掛けの例  玉掛けワイヤは常に2本掛けとする ✕  玉掛けワイヤを重ねると下のワイヤが絡まらぬ  吊り角度とワイヤロープにかかる張力の関係 
	7. 地切りをする	①補助者を避難させ ②微動巻き上げの合図をし	・荷振れを起こし、荷が激突 ・荷崩れを起こし、挟まれる	3	4	12	●	・地切りは、玉掛け補助者が吊 り荷から3メートル以上避難 してから、20～30センチ巻き 上げる	玉掛け者 補助者	
	8. 巻き上げる	①介錯ロープで誘導し ②吊り荷から3メートル離れ	・荷崩れを起こし、荷が落下 ・荷振れを起こし、激突 ・ワイヤロープが切断し、荷が落 下	5	5	25	●●●	・吊り荷から3メートル以上離 れ、介錯ロープで誘導する	玉掛け者	
	9. 止める	①床上2メートルの位置で ②大きな動作で								
	10. 横移動する	①介錯ロープで誘導し ②クレーンに先導して	・障害物と接触し、吊り荷が落下					・玉掛け方法の再教育（技能向 上教育）をする	会社	
	11. 止める	①大きな動作で ②枕木の真上で								
	12. 巻き下げる	①介錯ロープで誘導し ②補助者を避難させ	・手を触れて荷に挟まれる ・荷振れを起こし、激突する	2	4	8	▲▲	・荷降しは、玉掛け補助者を避 難させ、介錯ロープで誘導す る	玉掛け者	
	13. 一旦停止する	①枕木の20センチ上で ②荷の位置、方向を直して								
	14. 枕木を直す	①玉掛けワイヤロープの位置を ずらし								
	15. 降ろす	①微動巻き下げの合図で ②荷から手を離して								
	16. 荷の座りを見る	①ワイヤロープが緩んだ状態で ②2方向から	・荷崩れを起こし、荷に挟まれる	2	2	4	▲	・荷降しは、荷の安定を見て、 次の作業動作に移る	玉掛け者	
	17. 巻き下げる	①微動巻き下げの合図で								
	18. フックからワイヤロープを外 す	①フックを2メートル巻き上げ	・作業中、フックに激突する					・クレーンのフックを作業に支 障のない位置まで（約2メー トル）巻き上げる	玉掛け者	
	19. 荷解きをする	①ゆっくりと ②二人で	・ワイヤロープを引き抜き荷崩れ					・玉掛けワイヤロープは玉掛け 補助者と共同で引き抜く	玉掛け者 補助者	

作業 区分	手 順 (主なステップ)	急 所 (安全・成否・やりやすく)	危 険 有 害 要 因 (予測される危険)	重 大 性	頻 度	評 価 点	評 価	危 険 有 害 要 因 の 防 止 対 策	誰が	備 考 《 図 》
後 始 末 作 業	1. 点検する	①ワイヤロープのキンク、型崩れ、アイを ②シャックル、介錯ロープを						・玉掛けワイヤロープのキンク、素線の切断、より戻し等を点検し、塗油して保管する	玉掛け者	
	2. 玉掛け用具を片付ける	①指定場所に ②整理して ③キンク等を直して								
	3. 修了報告をする	①職長に ②元請係員に								

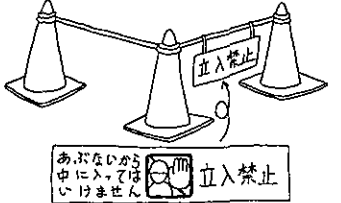
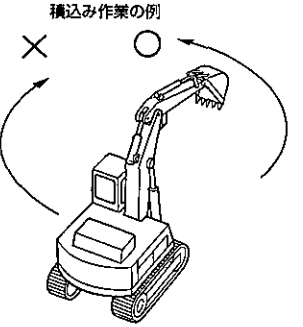
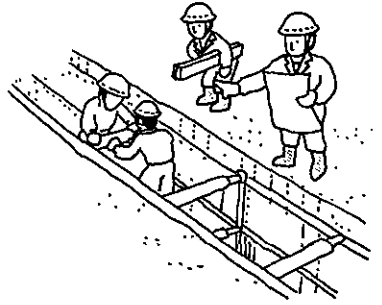
埋設管布設作業手順書及び危険有害要因の特定

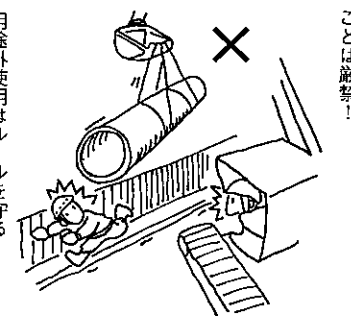
準備作業

作業名	埋設管布設作業	使用材料	埋設管、ゴミ袋、結束番線
使用機械	バックホー、ダンプ、ランマー、プレート、丸ノコ、酸素測定器	作業員	6名(作業員2名、合図者1名、玉掛け者1名、重機オペ1名、ダンプ運転者1名)
使用工具	梯子、ロープ、玉掛けワイヤ、A型バリケード、電工ドラム、敷鉄板	資格	車両系建設機械（整地等）運転技能講習修了者、大型自動車免許、地山の掘削作業主任者、土止め支保工作業主任者、玉掛け技能講習修了者

作業区分	手順 (主なステップ)	急所 (安全・成否・やりやすく)	危険有害要因 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険有害要因の 防止対策	誰が	備考 (図)
準備作業	1. 作業前のミーティングを行う	①全員参加で ②健康状態をチェックして ③他職との関連について	・技能、経験不足による災害	2	2	4	▲	・作業員の年齢、経験、資格、健康状態を確認して適正配置を行う	職長	
	2. 保護具を点検する	①保護帽、安全帯、安全靴等の								
	3. 施工図で打合せをする	①方法、手順を ②作業範囲を ③運搬経路を								
	4. 有資格者を配置する	①地山掘削・土止め作業主任者 ②車両系建設機械整地等運転技能講習修了者 ③玉掛け技能講習修了者又は特別教育修了者	・作業主任者の指示不徹底による地山崩壊、巻き込まれ災害 ・無資格作業による吊り荷の落下	3	3	9	▲▲	・作業主任者は作業中常駐し、作業を直接指揮、監督する	職長 主任者	「用途以外使用の条件」 - 作業の性質上やむをえないとき - バケットに専用の吊り具があること - フックにはずれ止めがあること - 合図者を指名し、合図させること - 平坦な場所で行うこと - 荷の落下、接触の危険箇所は立入禁止とすること - 構造上負荷させることのできる重量を超えないこと - 玉掛けワイヤは安全係数6以上で、キンクしていないものを使用すること - 玉掛けは玉掛け技能修了者又は特別教育修了者に行わせること - エンジン速度は低速で行うこと
	5. 工具・道具を点検する	①玉掛けワイヤロープ、シャックルを	・玉掛けワイヤの切断により荷が落下する	5	2	10	●	・玉掛けワイヤ等工具の不良品を取り除き、有資格者が玉掛けし、吊り荷の周囲から作業員を避難させる	作業員	
		②丸ノコのキャブタイヤ、接触防止装置、アースを	・コード破損により感電する ・接触防止装置がスライドしないので指を切断する	3	1	3	▲	・差込プラグのアースピン、キャブタイヤケーブルの損傷した物は取り替える	オペレータ	
				4	3	12	●	・接触防止装置がスライドするように調整しておく	職長	
	6. 車両系建設機械を点検する	①指定項目を点検表で ②職長立ち会いで	・整備不良により作業員に激突する	2	1	2	▲	・作業開始前の点検は職長立ち会いで実施し、不良箇所があった場合は整備後、作業を開始する	オペレータ	

作業区分	手順 (主なステップ)	急所 (安全・成否・やりやすく)	危険有害要因 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険有害要因の 防止対策	誰が	備考 (図)
準備作業	7. 掘削場所の確認をする	①酸欠・障害物等の有無を ②仮設資機材の仮置き場を ③排水方法と排水経路を	・酸欠、有毒ガス等の発生による 中毒災害	5	2	10	●	・障害物の切回し、又は移設、 防護処置を行う ・事前調査（ボーリング調査） の結果を参考にする	主任者 主任者	
	8. 既設埋設物を確認する	①元請の担当者に聞き ②図面で	・確認不足により埋設管等を破損 する	2	1	2	▲	・試し掘の結果に基づき判断し、 埋設物の標示をする	主任者	
	9. 車両系建設機械を作業場所 に移動する	①誘導員の誘導で ②有資格者が運転し	・他の作業員が重機に接触する	4	2	8	▲▲	・作業場所への重機の移動は誘 導員の合図で移動する	オペレータ	
	10. 仮設資材を搬入する	①資材は分けして	・資材が荷崩れ挟まれる	2	4	8	▲▲	・転がるものには転移防止をす る	作業員	
本作業	1. 作業場所に保安設備を設置 する	①A形バリケードで ②立入禁止の標示をし	・関係作業員以外が進入し重機と 接触	2	1	2	▲	・作業開始前に元請けと検討し た作業場所にA形バリケード で関係作業員以外の立入禁止 の措置をし、標示する	主任者	
	2. 掘削位置を決める	①施工図で打ち合わせし ②丁張りをかけレベルをだし ③埋設物のマーキングをし						・埋設物を事前に確認し標示す る	主任者	
	3. 車両系建設機械を移動する	①通路の人払いをし ②前進で ③誘導員の合図で	・死角のため関係作業員が重機と 接触 ・誘導員が転倒し車両系建設機械 と接触	3 2	3 2	9 4	▲▲ ▲	・車両系建設機械移動前に関係 作業員の人払いをし、誘導員 の合図で重機を移動する	誘導員	

作業 区分	手 順 (主なステップ)	急 所 (安全・成否・やりやすく)	危 険 有 害 要 因 (予測される危険)	重 大 性	頻 度	評 価 点	評 価	危 険 有 害 要 因 の 防 止 対 策	誰が	備 考 (図)
本 作 業	4. 車両系建設機械を据え付ける	①地盤の地耐力をみて ②法肩から1m離し平坦な場所に ③鉄板で養生し	・法肩が崩壊し車両系建設機械が転落	3	3	9	▲▲	・敷鉄板等で補強し、車両系建設機械は法肩から1m以上離し、誘導員の合図で掘削する	オペレータ	○カラーコーン、安全柵等で機械の周期、作業半径内への立入禁止の標示をする。 立入禁止措置の確認 
	5. 立入禁止の措置をする	①重機周りにバリケードで ②バケットから5m離して ③後方は3m離して	・関係作業員が重機と接触する ・掘削土が落下し作業員にあたる	3 2	4 2	12 4	● ▲	・車両系建設機械移動中は関係作業員であつても立ち入りを禁止する	主任者	
	6. ダンプを誘導する	①誘導員の合図で ②重機の左側に ③指定線までバックで	・関係作業員がダンプと接触	2	3	6	▲▲	・ダンプ誘導は運転者の右側に位置し、運転者から見やすい位置で誘導する	誘導員	
	7. 掘削する	①作業主任者の指揮で ②墨、深さを定規であわせながら ③浮き石、クラックを落とし	・車両系建設機械旋回時に作業員と接触 ・車両系建設機械の後進時に関係作業員と接触 ・浮き石等が落下し作業員にあたる	5 5 5	5 4 3	25 20 15	●●● ●●● ●●	・立入禁止措置は車両系建設機械のバケットの前方5m、後方3mを取り設置する。やむを得ず立ち入る場合はグーパの合図をし、停止後立ち入る	主任者	◎法肩に対して履帯の向きを直角にする。 ◎急旋回の作業は行わない。 ◎運転席で立ち上がるときはセフティーレバーをロックする。 ◎作業時の死角を作らない。 ◎監視員を配置する。 ◎荷台後方からの積込を厳守する。 ◎運転席上を旋回しない。 積込み作業の例 
	【★掘削作業手順は別に定める】									
	8. ダンプに積み込む	①左旋回で後方から ②運転席側から後方に ③あおりの高さまで	・バケットから荷がこぼれ誘導員にあたる	3	4	12	●	・誘導員は5m以上離れ旋回の合図をする	誘導員	
業	9. 搬出する	①誘導員の合図で ②場内20km/h以下で走行し ③タイヤの水洗いをして	・走行中作業員と接触する	2	2	4	▲		運転手	※土止め支保工作業主任者の職務 ①作業前の打合わせ・確認 ②作業開始前の指示・確認 ③作業中の指揮（部材の配置、取付けの順序は組立図によって行う） ④作業方法を変更する場合の措置 ⑤作業終了時の措置・確認等 
	10. 昇降設備（梯子、ステップ）を設置する	①掘削終了部分に ②手がかり（60cm）をつけ（深さ1.5m以上の場合）	・昇降時法肩が崩れ転落する ・法肩から足を滑らせ転落する	2 2	2 4	4 8	▲ ▲▲	・掘削終了場所で重機から一番遠い位置に昇降設備を設ける。昇降設備は60cm以上の手がかりをつける	作業員	

作業 区分	手 順 (主なステップ)	急 所 (安全・成否・やりやすく)	危 険 有 害 要 因 (予測される危険)	重 大 性	頻 度	評 価 点	評 価	危 険 有 害 要 因 の 防 止 対 策	誰が	備 考 (図)
本 作 業	11. 土止め支保工を取り付ける 【★支保工の作業手順は別に定める】									「用途外使用の制限」 ※掘削用機械を土止め支保工の部材打込み作業等に使う時は、次の条件をみたすことが必要である（労働安全衛生規則164条） 1. バケット等にフック等の金具を堅固に取付ける。 2. 機械との接触、部材の落下、転倒、機械の転倒のおそれのある箇所を立入禁止とする。 3. 機械の安定度、打込み、引抜き能力の範囲内での使用をする。 4. 作業指導者を定め、作業方法・手順を周知する。 5. 合図者を指名し、合図させる。 6. 引抜き作業は、フック等の金具を使用すると共に土止め部材と確実に連結する。 バケットの爪にワイヤを直接かけることは厳禁！  ※使用機械 バックホー ショベル ※人力作業 ランマー 木だこ 
	12. 床付けをする	①やり方を設置し、高さを決め ②ランマー、プレートで転圧し ③管台を設置し	・振動により土止め支保工が崩壊する	3	2	6	▲▲	・転圧作業中に土止め支保工を点検する	主任者	
	13. 布設管を投入する 【★玉掛け作業手順は別に定める】	①下部作業員の人払いをし ②バケットのフックに玉掛けし ③吊り荷から3m離れ	・吊り荷が落下し作業員に激突する ・荷崩れを起こし、足を挟まれる ・吊り荷と支保工の間に挟まれる	5 5 5	5 5 5	25 25 25	●●● ●●● ●●●	・バックホーで荷を吊る場合は玉掛け後避難を確認してから作業を開始する。 ・クレーン機能付きのバックホーを使用する	主任者 オペレーター	
	14. 布設管を接続する	①ロープ掛けで移動する ②声を掛け合って ③ワイヤバンドを取り付け	・素手で作業し指を挟まれる	2	2	4	▲	・作業中は軍手を使用し、相方と声を掛け合って作業する	作業員	
	15. 布設管を固定する	①通り芯、勾配をみて ②砂、良質土で密につき固め	・管上で足を滑らせ転倒する	2	2	4	▲	・転圧作業は管上に乗ることをさけ、脇から固め、転圧する	作業員	
	16. 埋め戻し土を搬入する	①ダンプ通路を整備し ②誘導員が誘導し ③法肩から離して仮置きする	・ダンプがバック中作業員に接触する ・埋め戻し土の重量で法肩が崩壊する	4	3	12	●	・運転者は誘導員の合図でバックし、指定の場所に埋め戻し土を仮置きする	運転者	
	17. 埋め戻し、転圧をする	①腹起こしの高さまで ②管の固定を見ながら ③ランマー、プレートで	・転圧機械に足を挟まれる	2	2	4	▲	・転圧作業員は安全靴を使用し、足元をよく見て作業する	作業員	
	18. 土止め支保工を撤去する 【★解体手順は別に定める】									
	19. 埋め戻す	①発生土を均等にまき ②ランマー、プレート、ローラー等で	・車両系建設機械旋回時作業員と激突する ・転圧機械に足を挟まれる	4 2	2 2	8 4	▲▲ ▲	・車両系建設機械稼働中はすべての関係作業員を避難させる	主任者 誘導員	
	20. 資材、工具を片付ける	①材料は整理整頓し ②重機は所定の場所に移動し ③工具は手入れをし								

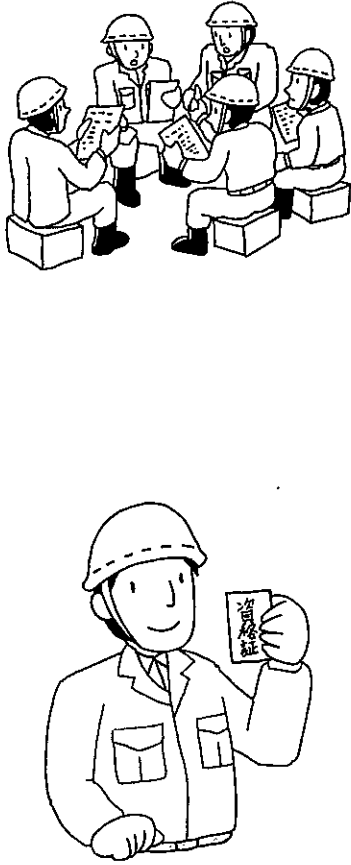
作業 区分	手 順 (主なステップ)	急 所 (安全・成否・やりやすく)	危 険 有 害 要 因 (予測される危険)	重 大 性	頻 度	評 価 点	評 価	危 険 有 害 要 因 の 防 止 対 策	誰が	備 考 (図)
後 始 末 作 業	1. 建設機械を搬出する 【★建設機械の車両への積み手 順は別に定める】	①誘導員の合図で ②作業指揮者の指揮で	・車両建設機械運搬車両から建設 機械が転倒							
	2. 仮設資材の搬出をする	①資材は清掃し ②荷積にロープ掛けをし	・積荷が落下し第3者災害を起こ す	4	1	4	▲	・積荷ロープの張り具合を確認 する	運転者	
	3. 保安設備を撤去する	①仮設物の撤去、復旧状態を確 認し								
	4. 清掃、片付けをする	①ゴミ等発生材の処分をする								
	5. 最終確認をする	①元請立会いで								
	6. 作業終了の報告をする	①元請係員に ②所属の会社に								



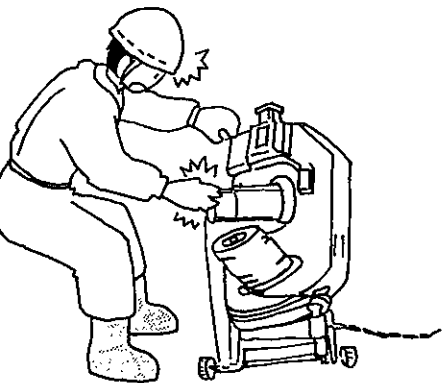
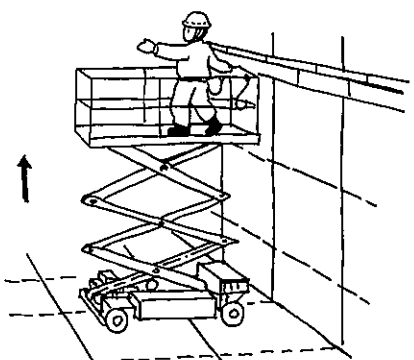
屋内天井ねじ込み配管作業手順書及び危険有害要因の特定

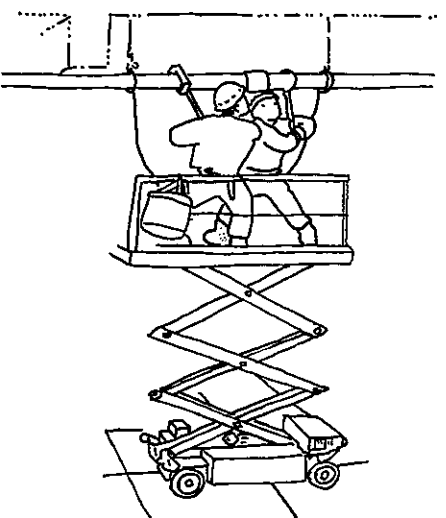
準備作業

作業名	高所作業車（10m未満）による屋内天井ねじ込み配管作業	使用材料	配管材、支持金物、ゴミ袋
使用機械	高所作業車（10m未満）、バンドソー、ネジ切り旋盤、全ネジカッター、振動ドリル	作業員	2名
使用工具	パイプレンチ、ハンマー、スパナ、バリケード、チェーン、チェーンブロック、吊りバンド、保護めがね	資格	高所作業車特別教育修了者

作業区分	手順 (主なステップ)	急所 (安全・成否・やりやすく)	危険有害要因 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険有害要因の 防止対策	誰が	備考 (図)
準備作業	1. 作業前ミーティングを行う	①全員参加で・健康状態をチェックして ②施工図をもとに作業範囲、作業分担を決めて ③作業手順をもとに危険箇所の説明をして	・技能、経験不足による災害 ・体調不良による人的ミス	2	2	4	▲	・作業員の年齢、経験、資格を確認して適正配置を行う ・作業員の体調（風邪、寝不足、二日酔い）を確認する	職長 職長	
	2. 保護具の点検をする	①安全帽、安全靴、安全帯、保護めがねなど								
	3. 有資格者を配置する	①高所作業車運転者を確認して（10m未満 特別教育修了者）	・無資格者の運転による転倒、挟まれ災害	4	3	12	●	・作業開始前、資格証の携帯を確認し、有資格者を配置する	職長	
	4. 機械・工具の点検をする	①高所作業車の始業前の ②電動工具の使用前の	・始業前整備不良による危険 ・始業前点検不足による感電災害	3 5	1 2	3 10	▲ ●	・機械の始業前点検の実施する ・差込プラグのアースピン、キャブタイヤケーブルの損傷の有無を点検する	運転者 作業員	
	5. 作業場所、通路を点検する	①他職と上下作業にならないか ②通路の障害物・段差・凹凸を	・作業の調整不足による飛来・落下災害 ・段差等につまずいて転倒	3 2	3 2	9 4	▲▲ ▲	・障害物は片付けて、段差・凹凸は除去する ・職長は前日の作業工程打合せ会議で他職との作業調整を実施し、上下作業を禁止する	職長 作業員	

作業区分	手順 (主なステップ)	急所 (安全・成否・やりやすく)	危険有害要因 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険有害要因の 防止対策	誰が	備考 (図)
本 作 業	1. 高所作業車を移動する	①置き場から作業場所へ ②前向き運転でゆっくりと ③誘導員をつけて	・凹凸、急発進等により高所作業車が転倒する	4	3	12	●	・床の段差、凹凸を除去する ・移動時は通路の人払をし、最降下位置で前進移動する ・狭い場所での移動は誘導員の合図に従って移動する	運転者 誘導員	高所作業車の注意事項 屋内の管工事の高所作業においては、小型の垂直昇降タイプやプラットフォームタイプの伸縮ブーム型の高所作業車が主に使用されています。 また、使用する場所や用途により機能の違った高所作業車も使用されます。メーカーや機種により運転方法や安全装置等がそれぞれ異なりますので取扱説明書を良く確認して安全に使いましょう。
	2. 作業区画の標示をする	①バリケード、カラーコーンで								
	3. インサート、スリーブの確認をする	①施工図で	・不安定な姿勢で高所作業車から転落する	3	2	6	▲▲	・高所作業車上の作業は手すりに安全帯を掛けて作業する また作業上不安定な姿勢となる場合は作業車を移動し、安定した姿勢で作業する	作業員	
	4. 吊りボルトを取り付ける	①施工要領書で吊りピッチを確認し ②インサートが不足のときはアンカーを打ち ③全ネジの切断はネジカッターで切断して	・ねじり込み不足により吊りボルトが抜ける ・ドリルの反動で手首をひねる	3	2	6	▲▲	・スパナでしっかりとねじ込む	作業員	
				3	3	9	▲▲	・ドリルにはサイドハンドルを取付け両手で保持する (切断と石の側面でのバリ取りは禁止)	作業員	
	5. 配管の寸法取りをする	①施工図と現場を確認して								
	6. 高所作業車から降りる	①最低降下位置に降ろして ②キーを抜いて	・高所作業車から転落する	3	3	9	▲▲	・高所作業車から降りるときは、作業台を最低降下位置までおろし、エンジンを停止し、キーを抜いてから降りる	運転者	

作業区分	手順 (主なステップ)	急所 (安全・成否・やりやすく)	危険有害要因 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険有害要因の 防止対策	誰が	備考 (図)
本 作 業	7. 管材を加工する 1) バンドソーで切断する	①加工材はバイスで固定し ②長尺物は受台を使用して ③管材に応じて、のこ刃と調整 ノブを替えて	・手で押えバンドソーの刃でケガ をする	3	3	9	▲▲	・加工材はバイスで固定しバン ドソーで切断する ・長尺物は管受台を使用し、バ ンドソーは管材に応じて、の こ刃を調整し、使用する	作業員	
	2) ネジ切り機でネジを切る	①チャック、ガイドでしっかり と固定して ②長尺物は受台を使用して	・手で押えネジ切り機に巻き込ま れる	3	3	9	▲▲	・ネジ切り時は、資材をチャッ ク、ガイド等でしっかり固定 し、作業する	作業員	
	3) 継手類をねじ込む	①万力台に加工材を固定して ②パイプレンチの滑り止めをし て ③大口径管は2人で、レンチを 掛け合って								
	8. 加工材、バルブ類を運搬す る	①長尺物、大口径管は前後2人 で担いで ②重量物は台車で	・無理な姿勢でギックリ腰をおこ す	3	3	9	▲▲	・前後お互いに声を掛け合って 運搬する	作業員	
業	9. 高所作業車に乗込み、上昇 する	①昇降口のチェーン（スライド バー）をかけて ②上昇時は上部を見て ③加工材を作業台に固定して	・上部確認不足により構造物と手 すりに挟まれる ・振動で加工材が落下する	4	2	8	▲▲	・上昇時は上部を確認しながら 上昇する ・重量物、長尺物は上昇固定後、 チェーンブロック、ウィンチ を使用して吊り上げる	運転者 作業員	
	10. 加工材を取り付ける	①吊りバンド、Uバンドで固定し て ②安全帯のフックを吊りバンド にかけて	・身を乗り出して、高所作業車か ら転落する	4	2	8	▲▲	・加工材取付け作業は加工材を 吊りバンド、Uバンドで固定し、 作業床中央部で作業ができる ように小まめに移動する ・吊りバンドに安全帯を使用し、 作業する	作業員	

作業区分	手順 (主なステップ)	急所 (安全・成否・やりやすく)	危険有害要因 (予測される危険)	重大性	頻度	評価点	評価	危険有害要因の 防止対策	誰が	備考 (図)
本 作 業	11. ねじ込む	①パイプレンチでしっかりと ②ねじ込んだら吊りバンド、Uバンドのナットを締め付ける	・片過重で高所作業車が転倒する	4	3	12	●●	・パイプレンチは配管に水平にかけて下向きに力を加える ・既存管にもパイプレンチをかける	作業員	
	12. 高所作業車から降りる	①最低降下位置におろして ②キーを抜いてから								
後 始 末 作 業	1. 高所作業車を片付ける	①作業場所から置き場へ ②キーは保管場所に返却する ③充電式は忘れずに充電する	・段差・凹凸で高所作業車が転倒する ・電工ドラムのコードが焼損する	5	3	15	●●	・床の段差、凹凸を除去する ・移動時は作業床を最降下位置にて移動し、指定場所に停止後、キーをぬき返却する ・誘導者の合図に従う ・充電は1個の電工ドラムで三台以内とする ・電工ドラムからケーブルは、のばして使用する	運転者 運転者 運転者	
	2. 作業区画標示を撤去する	①仮設物の復旧状態を確認して								
	3. 清掃、片付けをする	①ゴミ等発生材の処分をする ②工具は手入れをし						・ゴミは分別して指定場所に片付ける	作業員	
	4. 報告をする	①作業終了を元請と自社に								
	5. 確認をする	①翌日の作業内容を ②使用する材料の有無を								